

学報

2018年6月 Vol.730



平成30年度第3回学長記者会見を実施

岐阜大学生チームが「第10回学生金型グランプリ」で優勝	01
医学部看護学科2年中塚美帆さん 国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョンで受賞	02
English Circle of Friends に岐阜県庁国際交流員のセヴギ・チェヴィックさんが参加	03
第9回連合農学研究科セミナーを開催	04
南フロリダ大学の学生が来学	05
日本語・日本文化教育センター 第7回郡上踊りワークショップを開催	07
“未来へのバイオ技術”勉強会を開催	09
本学工学部 化学・生命工学科 神原信志 教授が澤藤電機の記者発表会に出席	10
平成30年度第3回学長記者会見を実施	11
学位授与	12
表彰受賞者	13
外国人研究者の受け入れ	14
産官学連携の実施状況	15
メディア掲載一覧	17
諸会議	22
主要日誌	24
人事異動（学内限定）	26

岐阜大学生チームが「第10回学生金型グランプリ」で優勝

「第10回学生金型グランプリ（（一般社団法人）日本金型工業会主催）」において「プレス金型部門」に出場した本学学生チームが優勝した。また、「プラスチック金型部門」に出場した本学学生チームは銀賞を獲得した。

本グランプリは、金型を学ぶ学生達が製作した金型、成形サンプルを展示し、学生自身が金型製作の設計から金型加工、成形に至る実施内容を説明するもので、今回で10回目の開催となる。民間企業の社員が自由にブースに立ち寄り、学生達と交流できることから、ものづくりの現場で課題となっていることを議論する貴重な場にもなっている。

本学は、4年前にプラスチック金型部門において、3年前からはプレス金型部門において連続して金賞を受賞しており、両部門併せて5年連続の金賞受賞となった。

5月22日（火）には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員による森脇学長への報告会が行われた。

グランプリに出場した学生は、「今回の成形は最初からうまく出来たので大きな改良せずに精度を上げることができた。」と報告し、森脇学長は、「素晴らしい成果である。ぜひ来年も優勝できるよう頑張ってもらいたい。」と称えた。



受賞報告の様子



集合写真

医学部看護学科2年中塚美帆さん 国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョンで受賞

医学部看護学科2年生の中塚 美帆さんが、国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン「2017年度 夢を生きる：女性のための教育・訓練賞」を受賞した。平成30年2月23日（金）に行われた選考委員会において66件の応募のうち、連盟第1位に選ばれ、平成30年4月25日（水）に神戸市内のホテルで行われた定期大会にて表彰式が行われた。

国際ソロプチミストは130ヶ国と地域に約8万人の会員を擁し、日本には134団体がある女性の生活向上などを支援する奉仕団体である。

本賞は自立に向けて学業に励む女性らを支援することを目的としたソロプチミストの主要プログラムで、連盟での受賞は、日本中央リジョン区域2府12県（愛知県、福井県、岐阜県、兵庫県、石川県、京都府、三重県、長野県、奈良県、大阪府、滋賀県、静岡県、富山県、和歌山県）内で6名程度であり、連盟第1位の受賞は日本中央リジョンの中でも大変栄誉ある受賞となる。

中塚さんは、5月24日（木）、学科長である奥村教授らとともに、学長室を訪問し、受賞の喜びを森脇学長に伝えた。中塚さんは、「熊本地震や阿蘇山の噴火等の災害で被災した経験乗り越えて、勉学に励んだこと等をレポートにまとめ、自分が経験した困難は決して無駄なことではないと感じた」と報告した。森脇学長は、「大変素晴らしい賞である。また、中塚さんは様々なことにアンテナを張っていることは素晴らしく、これからも頑張っ



学長報告の様子



記念撮影（下左から：森脇学長、中塚さん、奥村学科長、上左から：石原教授、大平准教授）

English Circle of Friends に岐阜県庁国際交流員の セヴギ・チェヴィックさんが参加

グローバル推進本部では、毎月2回程度、お昼休みの時間帯にランチを持ち寄って様々なテーマについてディスカッションを行い、英会話を通じて、仲間を作りながら実践的な英語力を身に付けることを目的とする English Circle of Friends を実施している。

5月23日（水）に開催された第2回 English Circle of Friends では、岐阜県庁で国際交流員として活躍されているセヴギ・チェヴィックさん（トルコ出身）をゲストスピーカーとして、SHOW and TELL が行われた。

SHOW and TELL ではセヴギさんと本学グローバル推進本部レイモンド・コウ特任准教授、外国人留学生チューター2名が母国を象徴する食べ物や有名人、風景等の写真をもとに参加者と意見を交わした。

今回の English Circle of Friends には、学生及び教職員約25名の参加があり、実施後のアンケートでは、「色々な国の食べ物や国旗の意味、人物について知ることができました。」や「初めての参加でしたが、とても楽しかったです。また、参加したいと思います。」等の感想が寄せられた。

English Circle of Friends では、学生・教職員の皆さんにキャンパスにしながら国際交流を経験していただくため、今後も様々な機会を提供していく予定である。



トルコの紹介をする
セヴギ・チェヴィックさん



カナダの紹介をする
レイモンド・コウ特任准教授



SHOW and TELL の様子

第9回連合農学研究科セミナーを開催

岐阜大学大学院連合農学研究科では、平成30年5月23日（水）に参加者11名の下、第9回連合農学研究科セミナー～海外研究インターンシップ報告会～を開催した。

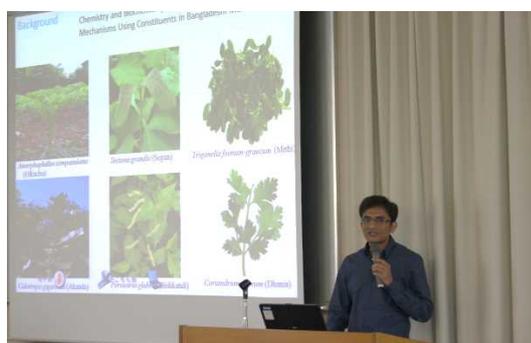
中野専任教員の挨拶のあと、本研究科の授業科目「研究インターンシップ」の成果報告を3名の学生が行った。全員がIC-GU12加盟大学への研修であり、現地の生活環境や研修先の教員とのコミュニケーションを図りながら研究を進めたこと等、普段研究室では経験できない貴重な体験を数多く行い、今後の自分の研究にどう役立たせるかについて報告した。

また、この様子は静岡大学にテレビ会議システムで配信され、質疑応答が活発に行われた。

〈プログラム〉

海外研究インターンシップ報告

- ・ MOHAMMAD NURUZZAMAN MASUM (モハマド ヌルザマン マッサム D3)
ダッカ大学 2017年5月5日～2017年5月31日
- ・ TRAN DUY QUAN (トラン ドゥイ カン D2)
チュイロイ大学 2017年10月30日～2017年11月29日
- ・ JOBAIDA AKTHER (ジョバイダ アクター D2)
ダッカ大学 2017年12月3日～2018年1月10日



研究インターンシップ報告をする
MOHAMMAD NURUZZAMAN MASUM (D3) さん



研究インターンシップ報告をする
TRAN DUY QUAN (D2) さん



研究インターンシップ報告をする
JOBAlDA AKTHER (D2) さん

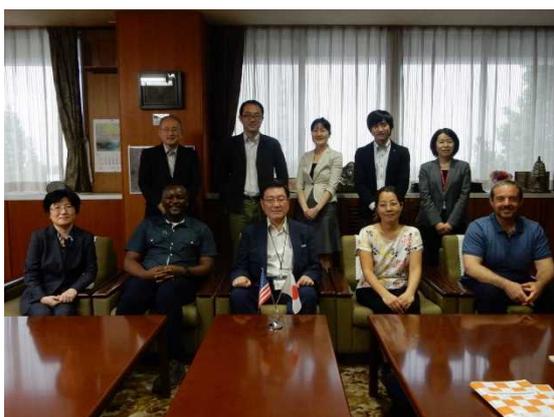
南フロリダ大学の学生が来学

平成 30 年 5 月 23 日（水）から 25 日（金）の 3 日間にかけて、米国の南フロリダ大学より学生 30 名が岐阜大学を訪問した。南フロリダ大学は、学生数 48,000 人の全米最大規模を誇る州立大学の一つであり、平成 28 年 10 月には、本学医学部及び保健管理センターと南フロリダ大学医学学群との間に部局間協定が締結されている。

南フロリダ大学の一行は、訪問初日に医学部記念会館で開催された看護学科国際化部会主催のウェルカムランチパーティに参加し、岩間医学部長、吉田医学部附属病院長、保健管理センターおよび医学部看護学科の教職員、さらには 78 名の看護学科学生との交流を深めた。また、看護学科 3 年生の講義「医療英語 I」に参加し、看護師－患者間の医療面接ロールプレイに模擬患者役として加わった。他にも、山本保健管理センター長による講義「日本の医療保険制度と大学保健管理について」、小山流域圏科学研究センター准教授による講義「地域の減災・防災対策」、医学部附属病院見学、医学部箏曲部員との箏曲演奏体験等が実施された。

翌 24 日（木）には、岐阜県内の医療福祉施設見学の他、長良川の鶴飼いを体験し、本学医学部医学科の学生、教員との交流を深めた。また、最終日 25 日（金）には、郡上市立八幡小学校を訪問し、学校給食や校内清掃を体験した。

南フロリダ大学 Matawal Makut 講師、酒井敦子教授、Benjamin Young 講師による森脇学長表敬訪問では、今後の両大学における学生及び教職員の交流促進について、活発な意見交換が行われた。また 30 名の南フロリダ大学学生は、森脇学長と一人ずつ握手を交わし、記念品を贈呈された。今回の来訪を機に、南フロリダ大学とは、教育・研究・臨床分野における更なる交流、発展が期待される。



学長表敬訪問

前列左から、山本保健管理センター長、

Makut 講師、森脇学長、酒井教授、Young 講師 後列左から、鈴木理事（国際・広報担当）、西尾准教授、田島准教授、堀田助教、野々村調整役



森脇学長と南フロリダ大学学生及び教員



ウェルカムランチパーティの様子



ウェルカムランチパーティ後の記念撮影

日本語・日本文化教育センター 第7回郡上踊りワークショップを開催

日本語・日本文化教育センターは、2018年5月23日（水）、柳戸会館1階集会ホールにおいて、郷土芸能のひとつであり国重要無形民俗文化財の指定を受けている「郡上踊り」を学ぶワークショップを開催した。当日は、留学生、日本人学生、教職員約40人が参加した。このワークショップは、サマースクール（受入）郡上プログラムや本学との地域連携協定の締結などの交流実績がある郡上市との交流促進の一環として実施しているもので、今回で7回目の開催となる。

ワークショップが始まる前に、学生たちは、美濃市の国際交流支援グループ「せびあ会」の方々に浴衣を着付けていただいた。今年度は参加者が多く、下駄が足りなくなるほどの盛況であった。アメリカ、インドネシア、オーストラリア、韓国、トンガ、ケニア、タイ、中国、ハンガリー、フランス、ベトナム、ペルー、マレーシア、ミャンマー、そして日本の学生たちは、どの浴衣を着るか選ぶときから賑やかに盛り上がった。

ワークショップには、郡上踊り口明方お囃子会の遠藤光生氏、熊澤里重氏を講師としてお招きした。最初に郡上市や郡上踊りの概要についての説明を聞いてから、郡上踊りの中で代表的な曲の「かわさき」と「春駒」の2曲の踊りを習った。

慣れない動きに四苦八苦する学生もいましたが、「上手下手ではない、笑顔で楽しく踊ることが一番大切」という講師の言葉に励まされて、それぞれがのびのび踊ることができた。最後に、楽しくそして真剣に踊った学生3名が講師によって選ばれ、賞品が手渡された。留学生にとって、日本そして岐阜を感じる貴重な機会となった。



「かわさき」ポーズで集合写真



「かわさき」を踊る学生たち



「春駒」を習う学生たち



講師と賞品を手にした学生たち

“未来へのバイオ技術” 勉強会を開催

5月25日（金）一般財団法人日本バイオインダストリー協会（以下、「JBA」という。）主催、岐阜大学共催で“未来へのバイオ技術” 勉強会「北東インドの生物資源、食品バイオポリマー研究」～インド工科大学グワハティ校と岐阜大学の産官学共同展開～が開催された。

始めに、柴田大輔氏（かずさ DNA 研究所産官学連携推進センター長）がインド工科大学グワハティ校（IITG）の所在するインド、アッサム州における生物資源の現状と将来展望について概説された。

続いての講演会では IITG の Vimal Katiyar 氏による Sustainable Polymer の産業利用、および Lingaraj Sahoo 氏による生物農薬と遺伝子組換え植物の産業利用、岐阜県教育委員会事務局教職員課課長の北岡龍也氏による「国際協働教育（Joint Degree 等）が目指すもの」と題し、講演いただいた。

岐阜県教育委員会事務局教職員課課長の北岡龍也氏は、元文部科学省高等教育局大学振興課長補佐として国際連携専攻に関するガイドラン策定に関与されたご経験から、岐阜大学が平成 31 年度に海外協定大学と開設する予定である 4 つの国際連携専攻（ジョイント・ディグリープログラム：通称 JD）の意義などについてご講演をいただいた。

最後に、本学応用生物科学部の小山博之教授が、「インド工科大学グワハティ校と進める JD プラットフォーム；インドの生物資源開発とグリーンエコノミー」のテーマで講演した。

本勉強会は、大学関係者や協会関係者、民間企業からの参加者も含め約 40 名の参加があった。

講演後の質疑応答では、活発に意見が交換され、JBA を中心に産官学が連携し、本勉強会を行った意義は大きいものであった。岐阜大学は、今後も今回のようなセミナーを継続して開催していく予定である。



セミナーの様子



柴田 大輔 氏



Vimal Katiyar 氏



Lingaraj Sahoo 氏



北岡 龍也 氏



小山 博之 教授

本学工学部 化学・生命工学科 神原信志 教授が澤藤電機の記者発表会に出席

2018年5月28日(月)にTKP新橋カンファレンスセンター内(東京都港区)にて本学工学部 化学・生命工学科の神原信志 教授が共同研究先である澤藤電機株式会社主催の記者発表会に出席した。

2017年3月に、本学は神原教授と澤藤電機の共同開発による、プラズマを用いた水素製造装置「プラズマメンブレンリアクター (PMR)」の開発について、記者会見を開催し発表した。

今回の記者発表会は、PMRの水素製造能力を1年前の40倍にまで高めたことを発表した。

現在は、アンモニアから99.999%の高純度水素を150NL/h (PMR1本あたり) 製造することができる。

また、PMRは水素の精製にも用いることができる。現在は、99.9%の低純度水素から99.999%の高純度水素を385NL/h (PMR1本あたり) 精製することができる。

将来的には、水素製造能力、水素精製能力ともに、500NL/h (PMR1本あたり) の水素製造能力の実現を目指す。

PMRは今後、水素ステーション、燃料電池発電機、半導体製造プロセスなどへの応用が期待される。



記者発表会で説明する神原教授

平成30年度第3回学長記者会見を実施

本学は、5月29日（火）に、平成30年度第3回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から6月に開所する予定である「スマート金型開発拠点」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行った後、王副学長（産官学連携担当）から拠点について概要及び詳細を説明した。

生産年齢人口減少社会において、地域経済の規模を維持するための効率的な生産システムが求められている中、スマート金型開発拠点では、岐阜大学と企業、公的研究機関が協働して、従来の金型、プレス成形機、射出成形機等にセンシング機能を追加したスマート化を図り、これらをIoTプラットフォームに連結してデータを集積・解析し、成形不良の予兆を捉え自律的に成形や加工条件を調整するスマート生産システムを構築することを目指す。

森脇学長は「岐阜大学の強み分野であるこの拠点で国際基準を示していければ」と拠点到期待を述べた。

また、6月7日（木）には拠点の開所式が行われる。記念講演や拠点見学も行われる予定である。



スマート金型開発拠点の期待を述べる森脇学長



スマート金型開発拠点の説明をする王副学長（産官学連携担当）

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
甲第1079号	博士(医学)	中島 孝	平成30年5月16日	Impact of the pulmonary vein orifice area assessed using intracardiac echocardiography on the outcome of radiofrequency catheter ablation for atrial fibrillation (血管内超音波で測定した肺静脈入口部断面積が肺静脈隔離術後の心房細動再発に与える影響)
乙第1495号	博士(医学)	山田 佳輝	平成30年5月16日	Prediction of Early BK Virus Infection in Kidney Transplant Recipients by the Number of Cells With Intranuclear Inclusion Bodies (Decoy Cells)(核内封入体細胞(デコイ細胞)数を測定することで腎移植患者におけるBKウイルス感染症を早期に予想できる)

表彰受賞者

2018 IEEE International Conference on Applied System Innovation
BEST CONFERENCE PAPER AWARD 受賞

受賞者：佐々木 実 工学部教授
業績名：BEST CONFERENCE PAPER AWARD
受賞日：平成30年5月3日

2018 IEEE International Conference on Applied System Innovation
BEST CONFERENCE PAPER AWARD 受賞

受賞者：松下 光次郎 工学部准教授
業績名：BEST CONFERENCE PAPER AWARD
受賞日：平成30年5月3日

一般社団法人セメント協会 セメント協会論文賞 受賞

受賞者：板谷 義紀 工学部教授
論文名：高精度キルン内クリンカ温度計測技術の開発
受賞日：平成30年5月9日

日本学生相談学会 実践活動奨励賞 受賞

受賞者：堀田 亮 保健管理センター助教
業績名：日本学生相談学会 実践活動奨励賞 受賞
受賞日：平成30年5月21日

公益社団法人日本地震工学会 平成29年度日本地震工学会論文賞 受賞

受賞者：能島 暢呂 工学部教授
論文名：累積パワーに基づく地震動継続時間の経験的予測式の構築
受賞日：平成30年5月25日

公益社団法人日本材料学会 平成29年度支部功労省 受賞

受賞者：国枝 稔 工学部教授
業績名：公益社団法人日本材料学会 平成29年度支部功労省 受賞
受賞日：平成30年5月26日

外国人研究者の受け入れ (5月)

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
連合農学 研究科	チャイラット テチャブテポーン Chairat Techavuthiporn (タイ)	フアチュー チャラームプラキエット 大学 助教 Assistant Professor, Huachiew Chalermprakiet University	2018/5/7~ 2018/6/6	低酸素処理が青果物の品質保持や収穫後生理 に及ぼす影響 Effect of Anoxia treatment on quality retention and postharvest physiology of Fresh Produce

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成30年5月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	速水 悟	太平洋工業(株)
工学部	毛利 哲也	(株)不二越
応用生物科学部	神志那 弘明	パンチ工業(株)
地域連携スマート金型技術研究センター	土屋 能成	(株)MORESCO
工学部	吉田 佳典	日立金属(株)
医学部附属病院	安田 満	(株)医学生物学研究所
応用生物科学部	落合 正樹	アピ(株)
工学部	木下 幸治	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)
工学部	速水 悟	KYB(株)
工学部	上坂 裕之	(株)エムエス製作所
工学部	加藤 邦人	太陽化学(株)
工学部	神原 信志	川田工業(株)
工学部	新川 真人	(公財)科学技術交流財団
工学部	守富 寛	(公財)科学技術交流財団
流域圏科学研究センター	李 富生	(株)メイホーエクステック
地域連携スマート金型技術研究センター	土屋 能成	JFE スチール(株)
応用生物科学部	鈴木 徹	(株)共生環境技術研究所
応用生物科学部	西津 貴久	マルハニチロ(株)
共用推進支援センター	近江 靖則	美濃工業(株)
工学部	能島 暢呂	三井住友建設(株)
連合創薬医療情報研究科	赤尾 幸博	シーシーアイホールディングス(株)

○受託研究

(平成30年5月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
流域圏科学研究センター	景山 幸二	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 病害虫検出同定コンソーシアム
連合創薬医療情報研究科	赤尾 幸博	名古屋大学
連合創薬医療情報研究科	桑田 一夫	名古屋大学
流域圏科学研究センター	原田 守啓	国土交通省中部地方整備局
医学部附属病院	安田 満	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

応用生物科学部	猪島 康雄	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 常在疾病防除技術開発コンソーシアム
応用生物科学部	山田 邦夫	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 花き新興（育種栽培）コンソーシアム
応用生物科学部	乃田 啓吾	国立研究開発法人科学技術振興機構

メディア掲載一覧

○新聞

(平成30年5月分)

掲載日	新聞名	内容
5月1日	中日	パスやアタック表情真剣 バレー「JA ぎふオレーナ」 ～教育学部 附属小学校3年 星華絵さん～
5月2日	中日	岐阜大生アンケート 戦争記憶風化 増える改憲派 ～近藤 真 名誉教授～
5月2日	中日	民営化で免職 指針導入 土岐市 病院関係者に不安の声 ～地域 科学部 山本公德 准教授～
5月2日	岐阜	県の清流アスリート強化事業 92団体と29人指定 【成年個人】 陸上 ～教育学研究科 赤松諒さん～
5月2日	中日	◎ギャラリー：河西栄二展 ～教育学部美術教育講座 河西栄二 教授～
5月2日	日本経済	岐阜大、標本など図書館に展示
5月3日	読売	県 獣医師確保へ奔走 畜産振興に不可欠 新卒 多くは民間へ 学生にアピール ～応用生物科学部6年 佐野 豊さん～
5月3日	中日	家庭の余裕のなさ 子に影響 岐阜大・南出准教授に聞く ～地域 科学部 南出吉祥 准教授～
5月4日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議⑦：長良川 都市の真ん中に大自 然 ～教育学部 大藪千穂 教授～
5月8日	中日	CSR ペット産業に広がり 岐阜のNPO代表・奥田獣医師 共生社 会願い白書発行 ～応用生物科学部獣医学課程卒業 奥田順之さん ～
5月8日	岐阜	◎研究室から大学はいま：先天代謝異常症治療に力 ～医学系研究 科小児病態学 深尾敏幸 教授～
5月9日	読売	大学の再編 経営改善で教育の質確保を
5月10日	読売	岐阜大ミュージアム構想 学内で眠る「お宝」に光 「価値を知り、 残していく責務」 ～教育学部 須山知香 准教授～
5月12日	中日	お金と生活力 基本を学んで 入門書出版 新社会人と学生向け ～教育学部 大藪千穂 教授～
5月12日	岐阜	◎サタデーコラム：脂肪摂取は長寿の秘訣か ～医学系研究科 國 貞隆弘 教授～
5月12日	岐阜	5月12日は、「看護の日」。「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」 を大切に ～医学部附属病院 助産師 川瀬元美さん～
5月13日	中日	地域でがんのチーム医療 セミナーで医師ら心構え ～医学部腫瘍 外科 二村 学 准教授～

5月13日	中日	岐阜大のサークル 卒業生が研究発表 ～「生物科学研究会」卒業生～
5月14日	毎日	◎ぎふ人物記：文学から「岐阜」考える ～林 正子 副学長～
5月14日	中日	「社会明るく」運動 本年度の活動確認 岐阜で県推進委 ～教育学部～
5月14日	岐阜	「チーム医療 推進を」 がん治療向上へセミナー ～医学部腫瘍外科 二村 学 准教授～
5月15日	中日	リトアニア名誉領事館 中部初, 岐阜商議所内に開設 ～岐阜・リトアニア友好協会長 森脇久隆 学長～
5月15日	朝日	杉原千畝が縁 岐阜に領事館 リトアニア, 交流拠点に ～岐阜・リトアニア友好協会長 森脇久隆 学長～
5月15日	岐阜	リトアニア名誉領事館 岐阜商議所に開館 ～岐阜・リトアニア友好協会長 森脇久隆 学長～
5月15日	岐阜	◎研究室から大学はいま：大正デモクラシーを再考 ～教育学部社会科教育 田澤晴子 准教授～
5月16日	毎日	大学無償化要件 7割反対 国立大調査 政府の干渉に反発
5月16日	岐阜	木材製品開発, 強化へ 県森林コンソーシアム 研究グループ発足
5月16日	岐阜	暮らしに役立つ「はじめての金融リテラシー」 大藪千穂岐阜大教授らが出版 ～教育学部 大藪千穂 教授～
5月18日	中日	【岐阜大学シティカレッジ・プログラム】 中高齢者に多い目の病気と対処法 ～医学系研究科眼科学分野 川瀬和秀 臨床教授～
5月18日	岐阜	来たれ若者サポーター FC 岐阜, 入会無料組織立ち上げ 岐阜大生と広報連携
5月18日	中日	免疫利用しがん治療 岐阜で研究会始まる ～医学部附属病院 吉田和弘 病院長～
5月18日	岐阜	がん免疫療法を探求 岐阜市で研究会開幕 ～医学部附属病院 吉田和弘 病院長～
5月18日	中日	◎鶴の目：メッセージ ～近藤 真 名誉教授～
5月18日	岐阜	地域防災リーダー育成 岐阜で講座 防災士資格の10人入塾 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 センター長～
5月18日	中日	地域防災, 支える人材に 「げんさい未来塾」で入塾式 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 センター長～
5月18日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議⑧：ハチミツ 近代養蜂の基礎を築く ～教育学部 大藪千穂 教授～

5月19日	読売	加納の文化 冊子に ～地域科学部 富樫幸一 教授～
5月19日	岐阜	◎サタデーコラム:「運動音痴」遺伝ではない ～教育学部 春日晃章 教授～
5月19日	日本経済	静大と浜松医大 法人統合を検討
5月19日	中日	静岡大と浜松医大 法人の統合を検討 研究体制強化へ
5月19日	岐阜	静岡大と浜松医科大 運営統合を検討
5月20日	中日	法人統合 他大学は慎重 名大・岐大が呼び掛け 「利点見えず」 「単独経営で」
5月21日	中日	避難所運営 ゲームで体験 木津川で講座 ～流域圏科学研究センター 小山真紀 准教授～
5月21日	読売	◎教えてホームドクター:新しいがん治療薬 免疫の攻撃力を回復 対メラノーマ多くの効果 ～医学部附属病院皮膚科 松山かなこ 臨床講師～
5月22日	日本経済	統合後に大型研究拠点 名大・岐阜大が方針確認
5月22日	中日	統合後も自立性尊重 岐阜大と名大 検討協が目標確認
5月22日	読売	岐阜大・名大 統合「研究, 教育で利点」 検討会で合意 機構長 に教職員任免権
5月22日	毎日	名大と岐阜大, 統合検討の第2回会合
5月22日	朝日	統合後の教職員 新設機構が任免 名大・岐大の運営法人
5月22日	岐阜	大型研究拠点を整備へ 岐阜大と名大 運営統合協議 共通科目実 施も合意 研究力, 教育力を強化
5月22日	中日	岐阜大管弦楽団がピアニストと共演 瑞穂でコンサート ～岐阜大 大学管弦楽団～
5月22日	岐阜	「加納のまち」発刊 城や中山道宿の歴史ひと目 まちづくり会 RC40周年を記念 ～地域科学部 富樫幸一 教授～
5月22日	岐阜	◎研究室から大学はいま:表面加工の先端技術磨く ～工学部機械 工学科 上坂裕之 教授～
5月23日	中日	CSR 私募債活用 岐阜大に器具贈る 滋賀銀大垣支店 ～教育学 部 別府哲 学部長～
5月23日	中日	「スポーツ界の改善を」 中部のコーチや学生 ～アメリカンフッ トボール部～
5月24日	中日	近藤名誉教授の調査 岐阜大生 9条改憲反対74% 自衛隊正当化 31% ～近藤 真 名誉教授～
5月24日	中日	ニュースフラッシュ:22事業を再評価へ ～工学部 八嶋 厚 教 授～

5月24日	岐阜	岐阜大生ら担当 ぎふチャンラジオ収録 柴橋市長と市政トーク ～工学部3年 黒木寧範さん～
5月24日	中日	岐阜大生 米国の学生と交流 医療の英語力を磨く ～医学部看護 学科3年 中村真由香さん～
5月25日	朝日	岐阜大教授 飛騨市長に「密着」 「自治体や首長の役割じっくり」 休暇使い計1ヶ月 予算協議や来客対応間近に ～工学部 高木朗 義 教授～
5月25日	毎日	北海道3国立大 法人統合を検討 名大・岐阜大に続き
5月25日	中日	北海道3国立大 法人統合を検討
5月25日	日本経済	北海道3国立大も 法人統合へ本格協議
5月26日	岐阜	岐阜大医学部と南フロリダ大 学生ら英語で交流 ～医学部～
5月26日	岐阜	岐阜大生, 最新工法学ぶ 建設現場を見学 ～工学部社会基盤工学 科の学生ら約20人～
5月26日	中日	患者の変化にアンテナを FC 岐阜前社長が講演 ～医学部看護学 科3年 伊藤美彩さん～
5月27日	日本経済	おいしい食感 科学で導く 素材の構造・歯応え数値化 ～応用生 物科学部 西津貴久 教授～
5月27日	中日	◎この人：岐阜県教育長から岐阜女子大学長に ～元岐阜大学教員 松川礼子さん～
5月27日	岐阜	◎みんなで防災・減災：水の量や土壌と洪水の関係探る ～流域圏 科学研究センター 児島利治 准教授～
5月27日	中日	中部の大学関係者 危険協議イメージ心配
5月29日	岐阜	消費者ネットが役員全員を再任 岐阜市で総会 ～「消費者ネット ワーク岐阜」代表 教育学部 大藪千穂 教授～
5月29日	岐阜	◎研究室から大学はいま：臨床倫理に向き合い活動 ～医学系研究 科医学系倫理・社会医学分野 塚田敬義 教授～
5月29日	中日	同和問題テーマに元岐阜大教授講演 羽島 ～元岐阜大学教授 藤 田敬一さん～
5月30日	中日	岐阜大に開発拠点 部品の成形不良 自動で予防「スマート金型」
5月30日	朝日	金型にセンサー 製品不良率ゼロめざす 岐阜大が開発拠点 AI でデータを分析
5月30日	岐阜	岐阜大「開発拠点」7日開所 AI活用, 金型研究 県内外10社と 共同講座
5月30日	中日	北海道の3国立大 運営法人を統合へ 22年4月目標
5月30日	朝日	法人統合 動く国立大 事務効率化し競争力向上目指す 名大と岐

		阜大も検討
5月30日	日本経済	法人統合, 22年めざす 北海道3国立大合意 経営を効率化
5月30日	岐阜	北海道の3国立大 法人22年統合へ
5月30日	岐阜	「たま駅長」に経営学ベ 岐阜大地域交流協力会, 講演会
5月31日	中日	◎新聞カフェ: 電気自動車 (EV) 課題多く「普及まだ」 ~工学部 瀬瀬・宇田川研究室~

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成30年5月分)

放送日	番組名	内容
5月3日	東海テレビ 16:49~ 「ニュースOne」	岐阜県におけるカモシカの人里への出没と目撃事例の増加の要因とその対策について 応用生物科学部 浅野 玄 准教授
5月7日	ぎふチャン 17:40~ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 防災・減災センターの活動紹介 清流の国ぎふ防災・減災センター長 杉戸真太 特任教授
5月7日	CBC ラジオ 16:46~16:53 「丹野みどりのよりどり っ!」	男性の家事参加に関するハンドブック(岐阜市作成, 大藪教授監修) について 教育学部 大藪千穂 教授
5月25日	名古屋テレビ 16:46~ 「UP!」	岐阜県におけるカモシカの人里への出没と目撃事例の増加の要因とその対策について 応用生物科学部 浅野 玄 准教授
5月28日	ぎふチャン 17:40~ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 緑のダム 清流の国ぎふ防災・減災センター 児島利治 准教授

◇第615回 役員会

5月10日(木)

(議事)

1. 職員の功労者表彰について
2. 学外者に対する感謝状の贈呈について
3. 業務達成基準適用事業に係る達成度等について

◇第2回 部局長・部長会

5月10日(木)

(協議事項なし)

◇第2回 岐阜大学グローバル推進本部会議

5月14日(月)

(議題)

文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度に係る推薦方法に関する申合せ(案)について

◇第2回 教学委員会

5月15日(火)

(審議事項)

1. 学生表彰について
2. 平成30年度授業料免除に係る留年者等審査部会の委員の選出について
3. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
4. 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について

◇第170回 教育研究評議会

5月17日(木)

(審議事項)

1. 学生の不幸事について

◇第2回 入学試験専門委員会

5月23日(水)

(審議事項)

1. 地域科学部入学者選抜基準の一部改正(案)について
2. 医学部医学科私費外国人留学生特別入試選抜基準の一部改正(案)について

◇第616回 役員会

5月24日(木)

(議事)

1. クロスアポイントメントの実施について
2. 平成30年度分教員人事について

5月31日(木)

(議事)

1. 自然科学技術研究科岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携 食品科学技術専攻
の設置認可申請に係る補正申請について
2. 平成30年度分教員人事について
3. 教育職員雇用申請について

主要日誌

月 日	行 事 名
5/ 2	男女共同参画推進室会議
2	学部運営委員会
5	東海北陸地区臨床研修病院合同説明会
6	岐阜大学公開講座「昆虫教室」
7	教養教育推進部門会議
8	企画運営会議
8	第1回情報ネットワーク専門委員会
8	教学企画室会議
8	教務厚生委員会(医)
8	学務委員会(医)
9	運営委員会
9	第1回 English Circle of Friends
9	教学委員会
9	看護学科教員会議(看)
9	病院運営会議
9	教学委員会
9	大学院委員会
10	部局長・部長会
10	役員懇談会
10	教育研究院運営委員会
10	部局長・部長会
11	環境マネジメントシステム専門委員会
11	地域協学センター運営委員会
11	学科長等会議
11	代議員会(連農)
15	ランチタイムセミナー
15	教学委員会
15	研究科委員会
16	東海北陸地区支部会議
16	げんさい未来塾生入塾式
16	研究科委員会・教授会
16	教授会・研究科委員会
16	教授会議(医)
16	教授会・研究科委員会
17	教育研究評議会
17	役員懇談会
17	東海地区国立大学法人等職員基礎研修
17	教育研究評議会

- | | |
|----|-------------------------------|
| 18 | 教授会、研究科委員会 |
| 18 | 外国人特別入試合格発表(連農) |
| 21 | 刈払機取扱講習会 |
| 21 | 東海・北陸地区国立大学学生関係副学長・部課長会議 |
| 21 | 病院科長会議 |
| 21 | 企画運営委員会 |
| 22 | コンソーシアム運営協議会 |
| 22 | 教学企画室会議 |
| 22 | 会計検査院会計実地検査 |
| 23 | 教授会 |
| 23 | 第2回 English Circle of Friends |
| 23 | 会計検査院会計実地検査 |
| 23 | 平成30年度第1回岐阜大学教育学部教育実習運営協議会 |
| 23 | 連合農学研究科セミナー |
| 24 | 役員懇談会 |
| 24 | 教員会議 |
| 24 | 会計検査院会計実地検査 |
| 24 | 病院運営会議 |
| 25 | インド工科大学グワハティ校(IITG)との合同シンポジウム |
| 25 | 会計検査院会計実地検査 |
| 25 | 代議委員会 |
| 28 | 環境対策室会議 |
| 28 | コーディネーター会議 |
| 28 | げんさい楽座 |
| 28 | 平成30年度日本教育大学協会東海地区会評議員会 |
| 29 | 医局長等合同会議 |
| 30 | 事務連絡協議会(予定) |
| 30 | クリーンキャンパス(春) |
| 30 | 高等学校代表者と岐阜大学教育学部との懇談会 |
| 30 | 第2回病院経営企画会議 |
| 30 | クリーンキャンパス |
| 30 | 消防訓練 |
| 31 | 役員懇談会 |